

# 福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞  
TBSラジオ『メイのいきいきモーニング』取材紹介施設

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定  
350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一  
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉事務局

☎049・230・1111 FAX230・1112

「福音の園・gospelgarden」は、商標登録申請中です。

## 運営健全化推進会議・構成委員の声

### 平成うば捨て山

川越市第三地区民生・児童委員 関 征司

むかし、昔ある国に、六十になったら老人を山に捨てての習わしがあり、息子は老母を背負って山に行つたが、帰り道に迷わず帰れるように目印をつけておいたからと言う、母親の優しい言葉に捨て切れず、家の床下に隠して暮らしたと言ふ「昔話」がありました。

平成になつたら、

「後期高齢者」と言つて、特別な保険に入るよう、御上より申し渡された



高齢者は、血も涙もないこんな理不尽な事柄はやめて下されと言つて、お代官様に直訴しました。あまりの怒りに驚いた御上は、多少の改正をして、村人の怒りを鎮めようとするが、本質を見抜いた村人たちは、俺たちをさんざん働かせて年老いたら捨てるだか、と言つて目に涙を溜めた。(川越市木野目在住)

## 新年度三ヶ月過ぎて―理念・方針説明

### 「家庭的なお世話」は理念・方針に在りず

グループホーム福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳  
「グループホームはお家だから」と、「家庭的なお世話」を理念や方針に掲げている施設がある。しかし『家庭的なお世話』は理念・方針とはならない。何故ならば『家庭』は人それぞれに違っているのだから、――昨年暮れ開催された「通所介護事業管理者研修」席上、主催者より語られた言葉で、四年来抱き続けてきた疑念に、やっぱりそうだったんだと得心した。

一口に「家庭」と言われても、その背景は大家族の中で育つた人もいれば、親一人子一人の人もいる。また、厳格な家庭環境の人もいれば、開けっ広げな雰囲気の中で育つた人もいる。まさに「百千」。

理念・方針は、グループホーム管理者(リーダー)が介護保険の基本理念と認知症高齢者の特性を理解した上で、自らの言葉でまとめられた文章でなければならぬ。管理者自身の言葉で表現された理念・方針のもとにスタッフ総力で運営された結果、果実として醸し出されるのが、そのホーム固有の「家庭的で温かな雰囲気(お世話)」なのだ。この点を主客転倒、錯覚しているばかりに「好ましくない雰囲気・職場環境」が作られてしまっているのだ。

### 介護従事者の離職原因

管理者(リーダー)の抱く「家庭的なお世話」と、現場スタッフ個々人の抱く「家庭的なお世話」が相違し、ケアプラン実行上の行き違いから行き詰まり、離職に追い込まれるケースが跡を絶たない。

理念・方針は、ケアに迷ったときに拠り所とする基本的な考え方のこと。ご利用者十八名のケアに迷い行き詰まったとき、管理者が自らの言葉で、理念

と方針に裏付けられた具体的指示を出さなければ現場スタッフはこの迷いから抜け出すことができない。抜け出せず「このホームには…」と見切りをつけ離職するという悪循環が繰り返されるのだ。

### 福音の園・川越の「理念と方針」

当園は、介護保険の基本理念である「利用者本位」を大原則に、認知症高齢者の特性を踏まえ、「尊厳の保持」を盛り込んで、次のように掲げている。

- 一、「確かな援助技術に基づいた心に触れる優しい支援の実践」
- 二、「福音に基づいた希望への支援の実践」を基本理念に、①「生活づくりのお手伝い」②「動きたくなる環境づくり」③「園芸療法・音楽療法を中心にした生きがい活動」を基本方針に、スタッフ総力でお世話させていただきます。

### スタッフ紹介

### このホームに魅力を感じています

利用者様の一日は、お日様の匂いがする布団で目覚め、窓を開けると季節の風が入ってくる。庭に自分で植えた季節の野菜をもち花を摘む。そして、台所に立ち食事の用意をする。洗濯物をお日様に感謝して干す。夜眠れないときは、ラッキョの皮をむきながら昔話をゆっくり話して下さる。感謝と祈りが生活の中心に自然とあふれている。

私がこのホームに魅力を感じているのは、この環境と「生かさせていただいている」とすべて謙虚に感謝する利用者様の日常生活から、自分が忘れていた大切なものを学び、生活を共にさせていただくことに感謝する生活があるからだ。これからも宜しくお願ひします。(看護職 石井 浩子)

### 御礼

ちまき ・ 間宮 昭治様 (新潟県上越市)  
サクランボ ・ 西村 節子様 (山梨県南アルプス市)